



Vol.6

静岡とベトナムをつなぐ架け橋になりたい

ダオ フォン ザン(ベトナム出身)
人文社会科学部経済学科(2023年卒業)
2024年4月より株式会社静岡銀行 勤務



静岡県観光のモニターツアーでカニを頬張るザンさん

小さい頃から日本とベトナムの両国の発展につながる事業を展開するビジネスマンに憧れていました。ABPプログラムに魅力を感じ、静岡大学への進学を決めました。

在学中には、地方財政論ゼミで「浜松市と伊東市を事例に市民主体の防災まちづくり」をテーマに共同論文を執筆しました。文献だけでなく、現地に足を運び、ヒアリング調査を実施するなど、学んだことを実際に自分で確かめることの大切さを学びました。



大好きなフォー(鶏肉のフォー)

ABPプログラムでは、他国の学生と共に学び、多様な文化や価値観に触れて、グローバルな人材として異文化理解力や協調性を鍛えることができました。

4月から静岡県の地方銀行に勤めています。自分のスキルを磨き、静岡県を財政面で支える存在を目指すだけでなく、静岡県とベトナムをつなぐ銀行員になりたいです。



着物の着付けも経験し、卒業式に袴姿で参加しました



アジアブリッジプログラム(ABP)は、静岡県とアジア諸国の架け橋として活躍する人材を育成するため、企業や自治体と連携して、静岡大学で学ぶ留学生を応援しています。ご支援いただいている企業の皆様への感謝を込めて、活動をご報告します。



静岡大学では、持続可能な社会の実現を目指し、社会課題に多面的・戦略的にアプローチしています。今回は、プラスチックのリサイクルに貢献する新技術をご紹介します。

廃プラスチックのリサイクルを推進 ～テラヘルツ波を用いた高度識別装置を開発～

大学院光医学研究科 佐々木哲朗 教授

近年、マイクロプラスチックによる海洋汚染問題やレジ袋、ストローなどの使い捨て用品の増加など、世界各国で廃プラスチック問題が注目されています。循環経済や脱炭素の実現のためには、廃プラの素材を正確に識別・選別し、再生資源として有効利用することが必要です。

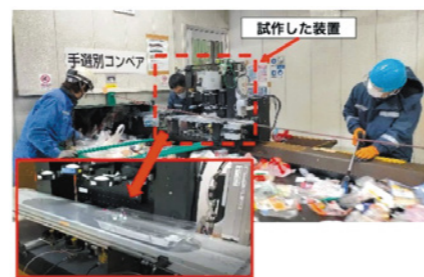
そこで、高品質の再生資源に生まれ変わらせる新技術として、テラヘルツ波を用いた高度識別装置を開発しました。テラヘルツ周波数帯における透過率/反射率の違いから素材や添加剤の分類に基づく分別ができます。廃プラの素材ごとの選別精度が上がることによって、高度なリサイクルが実現可能となります。今後も社会実証実験を進め、識別装置の一般普及を図り、プラスチックリサイクル率の向上に貢献していきます。



本研究に関するSDGsのロゴ



廃プラスチック識別装置



プラスチック製容器包装の識別実験

Shizudai Mini News



表彰式で研究室の活動を報告した新久保梓さん(左)、加藤亜実咲さん(中央)、渡辺美空さん

教育学部 藤井基貴研究室が「ぼうさい大賞」を受賞!

優れた防災教育を行う団体等を表彰する「1.17 防災未来賞(ぼうさい甲子園)」(人と防災未来センター主催)で、教育学部 藤井基貴研究室が「ぼうさい大賞」を受賞しました。同研究室では、幼児から高齢者までを対象に、「脅さない防災」「考える防災」「伝える防災」を柱とした活動を、先輩から後輩へと受け継ぎながら、国内外で行っています。2023年、最も力を入れたのは、高校生を防災教育の担い手として育成する「日本の若者をBOSAIの世界へ:防災×IT」プロジェクトです。静岡県内外の8校から2,000名を超える高校生が参加し、デジタルワークブックの制作・配布、動画配信やSNSによる遠隔指導の仕組みの構築に取り組みました。また、地元企業と学校・家庭向け防災総合アプリ「クロスゼロ」「防災検定ソナクエ」を共同開発したほか、海外の言語に翻訳した子ども向けの防災紙芝居を新たにペルー・フィンランドに提供しました。現地の防災教育に活用されています。



学校で活用されているクロスゼロ

国際会議「インターアカデミア2023」開催 13か国108名が浜松キャンパスに集う



本学は中東欧の多くの主要大学と大学間交流協定を締結して学術交流や学生交流を進めています。“A global brain-networkの構築”というコンセプトのもと、2002年から毎年、協定大学が交代で幹事大学を務める形式で国際会議「インターアカデミア」を開催しています。20回目となる2023年度は9月27日から29日の3日間、8年ぶりに本学が主催校として開催し、13か国108名が来場、9か国37名がオンラインで参加しました。会議では工学分野を中心とした研究発表や学外でのエクスカージョンのほか、各大学で進める教育・研究の情報交換が活発に行われました。今後もさらなる交流により大学間の国際活動のシナジー効果が期待されます。

おめでとう! 「しずっぴー」生誕20周年

キャンパスキャラクター「しずっぴー」がデビューして今年で20周年を迎えました!2004年3月、より親しみやすい大学への思いから、富士山を抱く静岡県と学びの拠点をイメージした無名のキャラクターとして本学ウェブサイトが登場。翌年、221点もの応募の中から「しずっぴー」と名付けられました。大学祭などのイベントや広報物などで本学を盛り上げてくれています。静岡大学生協で購入できるグッズもあります!今後も精力的に活動を続けるしずっぴー。皆さん応援をお願いします!

いつも図書館にいるよ。会いに来てね!



校友会組織「静岡大学 ゆかりの会」入会のご案内

在学生・保護者をはじめ、卒業生・企業など静岡大学と“縁(ゆかり)”のある方をつなぐ協力・応援ネットワークです。会員同士もつなぎ、未来創成の輪を広げていきます。

対象 どなたでも入会できます。

活動内容 静岡大学内の最新情報を集約し、メールマガジンで配信します。
・最新の研究成果
・企業や地域との連携
・学生や教職員の活躍
・セミナーやイベントのご案内

会員募集中!

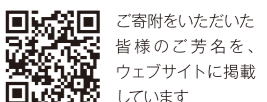


会員登録はこちらから(メールマガジン登録)



今後とも温かいご支援をお願いいたします
未来創成基金へのご寄附は、郵便振替やインターネットからのお申込み(クレジットカード・コンビニ決済等)をご利用いただけます。くわしくはウェブサイトをご覧ください。

静岡大学未来創成基金ウェブサイト
https://kikin.adb.shizuoka.ac.jp/
静岡大学広報・基金課 基金係
電話:054-238-5183 E-mail:kikin@adb.shizuoka.ac.jp



ご寄附をいただいた皆様のご芳名を、ウェブサイトに掲載しています